

桑原運輸の「ふかぼりSTORY」

愛媛新聞 5月31日掲載 5段 [H170×W380mm] 4c



輝く人には「構え」がある

あるプロスポーツ選手は、ルーティーンにこだわりがあり、ヒーローとなってからもウォーミングアップを手を抜くことなく行っているそうです。準備や心構えができていて、自信を持って全力を発揮することができます。桑原運輸は誰もが輝ける企業を目標に、始業時の約束事の徹底に取り組んでいます。

〈私たちの七つのこだわり〉準備／①モノ、情報、体調 ②意識（心構え、危険予知）二つを揃え、仕事に向かおう

始業前ルーティーンは笑顔のための流儀

「ルーティーン」という言葉が広く知られるようになったのは、ラグビーワールドカップ2015で大活躍した五郎丸歩選手の「五郎丸ポーズ」がきっかけでした。しかし、それまでも、野球のイチロー選手やサッカーの本田選手など超一流アスリートがルーティーンを持つこと、またルーティーンが「よいパフォーマンス」につながることは、スポーツ界にとどまらずビジネスの世界でも注目されていました。

ルーティーンとは「決められた手順や一連の動き」。桑原運輸にも始業時のルーティーンがあります。まず各グループで体調確認と危険予知活動（予想される危険とその対処法の確認）を行います。そして車両や道具などの点検と整備をします。これらは、いわゆる「準備」です。物やコトだけでなく、仕事に臨む気

持ちも始業時のルーティーンによって整えるのです。

「一般人には関係ないのでは？」と思う人がいるかもしれませんが、山口県立大学看護栄養学部の実験・研究では「作業前にルーティーン動作を付加することによって、集中力が増して作業の精度が高まること、非アスリートにおいて実証された」とあります。（出典：「ルーティーン動作が非アスリートの集中力と作業精度に及ぼす効果」科学・技術研究第6巻1号2017）

始業時に決められた手順を踏むことは、力を発揮して成果を出すことや安全につながり、それは笑顔を生みます。超一流アスリートの活躍のようにスポットライトを浴びることはありませんが、その笑顔は私たちにとって尊いので、桑原運輸では今日も私たちのルーティーンで一日を始めます。



運ぶことは、贈ること。

桑原運輸株式会社
KUWAHARA TRANSPORTATION CO., LTD.